

4. 女性医師のワークライフバランス

三重大学医学部附属病院

産婦人科助教 金田 倫子

日本の分娩取り扱い病院の常勤医において、2022年での女性割合は47.7%、そのうち42.9%が妊娠・育児中である。三重大学産婦人科での、女性医師のワークライフバランスを確保するための取り組みを報告された。

①人員確保：医局員の増員、分娩取り扱い施設の集約化、常勤医師の増員、急な休みに対応できる環境整備

②多様性：個々の希望に沿ったキャリア形成を支援し、やりがいを持てる環境を形成

③賃金：時短勤務、当直困難では賃金が少ないため、日勤帯での外勤の導入と関連病院の勤務

④働き方改革：当直明けは帰宅。家庭でのイベントはしっかり休む。カンファレンスは勤務時間内に。土日・祝日は交代制。1週間の夏季休暇。タスクシフト。

非常に成果をあげている教室の講演であった。そして、その原動力となるのは、医局員の増員と患者側に負担をかけない医療機関の集約化だと理解できた。

[報告：長谷川奈津江]

閑話求題

私見 心にとまった言葉

下関市 吉村 潤子

最近、印象に残った先人の言葉や単語を集めました。

- みんなちがってみんないい。
- 知らないことを知らないと自覚する。それが本当の知ること。
- 世の中で一番悲しいことは、嘘をつくことである。
- その場にはいない人の権利や立場は守られない。それは、あってはならないことである。
- メンバーを信用しない組織は、崩壊する。
- 人からの悪意は、気にする価値すら無いものである。
- 正直で誠実であれば、人はあなたをだますかもしれない。それでも正直で誠実でいなさい。
- 問題や意見の不一致は、対話を通じて最もよく解決される。
- 第三次世界大戦がどのような武器を使って戦われるかはわからない。だが、第四次世界大戦があるなら、武器は石と棒だ（1949年の言葉）。
- 置かれた場所で咲けない日には、無理に咲かずに根を下へ下へ降ろして根を張ろう。次に咲く花がより大きく美しいものとなるために。
- WBC 侍 JAPAN !!!

一人一人が与えられた「自由の刑」を、「考える葦」らしく全うする世の中でありませうように。